

2024年度事業報告書

公益財団法人 日中友好会館

目次

〔Ⅰ〕 公益目的事業	
(公1) 青少年交流・教育交流事業	：総合交流部 3
(公2) 寄宿舍施設の運営	：留学生事業部 10
(公3) 中国語及び日本語教育	：日中学院 14
(公4) 文化事業	：文化事業部 16
(公5) 植林・植樹事業	：総合交流部 20
〔Ⅱ〕 収益事業	29
〔Ⅲ〕 その他の事業 会員相互友好事業：日中友好後楽会	32
〔Ⅳ〕 法人の状況	33

〔Ⅰ〕公益目的事業

（公１）青少年交流・教育交流事業

：総合交流部

2024年度は、外務省が推進する対日理解促進交流プログラム「JENESYS2024」により、中国の高校生・大学生・社会人青年を対象として、日本の同世代・同分野の青少年との間で交流事業を計画し、結果として、招聘事業11団336名、派遣事業4団219名、フォローアップ事業6件270名（中国側139名、日本側131名）を実施した。

大学生では「映画」をテーマとした交流、社会人青年を対象とした交流では、従来実施している教育関係者、研究者の他に、著作権業界や障害者福祉、法曹関係者など交流分野を広げることができた。また、相互交流の一環として中日友好協会の招待による日本大学生訪中団・日本青年教育関係者訪中団、中国社会科学院の招待による日本青年研究者訪中団を派遣した。日本青年教育関係者訪中団は2011年以来13年ぶりの実施となった。

フォローアップ事業として、日本青年研究者訪中団、日本青年教育関係者訪中団の派遣に合わせ、過去の「JENESYS」事業で訪日した同分野の参加者との座談会・交流夕食会を行ったほか、昨年に引き続き中国大学生訪日団の招聘に合わせて日中大学生による合宿交流を行った。

「JENESYS2024」で実施するモンゴルを対象とした事業としては、青少年の招聘事業1件（53名）を行うとともに、過去の参加者のフォローアップ事業を3件実施した。

このほか、会館予算による事業として、「日中友好・人文交流フォーラム」を実施した。

1. 対日理解促進交流プログラム「JENESYS2024」

（対象国・中国）

「JENESYS2024」により、中国を対象とする招聘事業11件、派遣事業4件、フォローアップ事業6件の合計21件を実施した。明細は下記のとおり。

【中国を対象とした事業】

（1）招聘事業 11件 合計招聘人数 336名

ア 中国高校生招聘事業 2件 80名

①中国高校生訪日団

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・テーマ	訪問先	担当機関
2024年 10月30日／ 11月10日 ～11月16日	50	北京市、陝西省の高校生 『科学技術』	東京、北海道、 徳島	中国教育部

②香港・澳門高校生訪日団 ※（株）JTB に委託

事前リエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・テーマ	訪問先	担当機関
2024 年 11 月 23 日／ 12 月 8 日 ～12 月 14 日	30	香港・澳門の高校生 『科学技術』	東京、埼玉、 茨城	香港特別行政区政 府教育局／澳門特 別行政区政府教育 及青年發展局

イ 中国大学生招聘事業 2 件 60 名

①北京電影学院学生代表団 ※イオンコンパス（株）に委託

事前リエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・テーマ	訪問先	担当機関
2024 年 10 月 18 日／ 10 月 28 日 ～11 月 3 日	30	北京電影学院に所属する大学生・ 大学院生 『映画』	東京、栃木	北京電影学院（派 遣協力：在中国日 本国大使館）

②中国大学生訪日団

事前リエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・テーマ	訪問先	担当機関
2025 年 2 月 26 日／ 3 月 2 日 ～3 月 8 日	30	北京市の大学生・大学院生 『地域コミュニティ』	東京、神奈川、 埼玉	中国日本友好協会

ウ 中国青年招聘事業 7 件 196 名

①中国著作権業界関係者代表団

事前リエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・テーマ	訪問先	担当機関
2024 年 5 月 29 日／ 6 月 2 日 ～6 月 8 日	29	首都版權協会及び会員企業の著作 權保護部門に所属する青年 『著作権保護』	東京、山梨、 静岡	首都版權協会 （派遣協力：在中 国日本国大使館）

②中国社会科学院青年研究者代表团

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・テーマ	訪問先	担当機関
2024 年 6 月 26 日／ 6 月 30 日 ～7 月 6 日	19	中国社会科学院に所属する若手研究者 『産業政策と新興産業』	東京、宮城	中国社会科学院

③2024 年日中障害者福祉青年交流代表团

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・テーマ	訪問先	担当機関
2024 年 7 月 31 日／ 8 月 5 日 ～8 月 9 日	29	中国障害者連合会及び関連機関に所属する青年 『障害者も参画できる包摂的社会を目指して』	東京、愛知	中国障害者連合会 (派遣協力 : 在中国日本国大使館)

④中国青年公益事業交流団

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・テーマ	訪問先	担当機関
2024 年 8 月 20 日／ 8 月 25 日 ～8 月 31 日	50	中国で教育分野に従事する青年及び文化について学ぶ大学生 『科学・芸術教育』『多文化・伝統文化の継承』	東京、山梨、静岡、奈良、京都	中国宋慶齡基金会

⑤第二十六回中国教育関係者代表团

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・テーマ	訪問先	担当機関
2025 年 1 月 16 日／ 1 月 20 日 ～1 月 24 日	30	中国の教員・教育関係者 『小・中・高校生へのネットリテラシー教育』	東京、埼玉、千葉	中国日本友好協会

⑥康達青年弁護士友好訪日団 ※イオンコンパス（株）に委託

事前リエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・テーマ	訪問先	担当機関
2025 年 2 月 10 日／ 2 月 16 日 ～2 月 22 日	20	法曹の関連部門に所属する青年 『法曹の活躍領域』	東京、新潟	北京市康達律師事務所（派遣協力： 在中国日本国大使館）

⑦日中青年交流訪日団 ※イオンコンパス（株）に委託

事前リエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・テーマ	訪問先	担当機関
2025 年 2 月 28 日／ 3 月 3 日 ～3 月 7 日	19	会社経営者や地域活性化を担う青年 『文化産業、農業及びグリーンエコ ノミー産業から住みやすい町を作る ための人材育成』	東京、石川	中国国際青年交流 センター （派遣協力：在 中国日本国大使館）

(2) 派遣事業 4 件 合計派遣人数 219 名

①日本大学生訪中団

団名		事前リエンテーション／ 派遣期間	派遣 人数	団員構成・テーマ	訪問先	担当機関
日本大学生 訪中団	第 1 陣	2024 年 6 月 11 日・ 7 月 18 日／ 7 月 28 日 ～8 月 3 日	59	団長、団員 53 名、 事務局等 5 名 『中国とのふれあい』	北京市、 山西省	中国日本 友好協会
	第 2 陣	2024 年 9 月 10 日・ 11 月 5 日／ 11 月 24 日 ～11 月 30 日	99	団長、団員 92 名、 事務局等 6 名 『中国とのふれあい』	北京市、 広西チワン 族自治区、広東 省	中国日本 友好協会

②日本青年研究者訪中団

事前リエンテーション／ 派遣期間	派遣 人数	団員構成・テーマ	訪問先	担当機関
2024 年 8 月 30 日／ 9 月 8 日 ～9 月 14 日	16	団長、団員 13 名、事務局等 2 名 『地域活性化』	北京市、 河南省	中国社会科学院

③日本青年教育関係者訪中団

事前リエンテーション／ 派遣期間	派遣 人数	団員構成・テーマ	訪問先	担当機関
2024 年 10 月 18 日／ 10 月 27 日 ～11 月 2 日	45	団長、団員 41 名、事務局等 3 名 『中国とのふれあい』	北京市、 山東省、 上海市	中国日本友好協会

(3) フォローアップ事業 6 件 合計参加人数 270 名（中国側 139 名、日本側 131 名）

①中国社会科学院青年研究者代表団フォローアップ ※中国で実施

実施日	参加人数		参加者・交流先の構成	協力機関
	中国側	日本側		
2024 年 9 月 10 日	10	14	過去の中国社会科学院青年研究者代表団参加者／「JENESYS2024」日本青年研究者訪中団参加者	中国社会科学院

②日中教育関係者 座談会・交流夕食会（中国教育関係者代表団フォローアップ）

※中国で実施

実施日	参加人数		参加者・交流先の構成	協力機関
	中国側	日本側		
2024 年 10 月 29 日	28	42	過去の中国教育関係者代表団参加者／「JENESYS2024」日本青年教育関係者訪中団参加者	中国日本友好協会

③日本大学生訪中団フォローアップ（合宿交流）

実施日	参加人数		参加者・交流先の構成・テーマ	協力機関
	中国側	日本側		
2025 年 3 月 6 日 ～3 月 7 日	27	39	日本大学生訪中団参加者／ 中国大学生訪日団参加者 『社会課題』	中国日本友好協会

④2024年日中障害者福祉青年交流代表団フォローアップ オンライン交流

実施日	参加人数		参加者・交流先の構成	協力機関
	中国側	日本側		
2025 年 2 月 20 日	29	2	「JENESYS2024」2024 年日中障害者福祉青年 交流代表団参加者／東京都立水元小合学園 の関係者	中国障害者連合会

⑤香港・澳門高校生訪日団フォローアップ ※オンラインで実施、(株) JTB に委託

実施日	参加人数		参加者・交流先の構成	協力機関
	中国側	日本側		
2025 年 2 月 22 日	29	21	「JENESYS2024」香港・澳門高校生訪日団参 加者／西武学園文理中学・高等学校の高校 生、ホームステイ関係者	香港特別行政区政 府教育局／澳門特 別行政区政府教育 及青年發展局

⑥日中大学生オンライン座談会

（中国青年公益事業交流団、日本大学生訪中団フォローアップ）

実施日	参加人数		参加者・交流先の構成	協力機関
	中国側	日本側		
2025 年 3 月 18 日	16	13	中国青年公益事業交流団大学生団員／ 日本大学生訪中団団員を中心とした日本大 学生	中国宋慶齡基金会

2. 対日理解促進交流プログラム「JENESYS2024」（対象国：モンゴル）

（株）JTB に委託し、招聘事業 1 件、フォローアップ事業 3 件を実施した。明細は下記のとおり。

（1）招聘事業 1 件 招聘人数 53 名

①モンゴル訪日団

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・テーマ	訪問先	協力機関
2025 年 2 月 17 日／ 2 月 18 日～ 2 月 25 日	53	モンゴルの高校生・大学生・大学院生・社会人等 『日本のものづくりとその人材育成』『日本の外交・安全保障環境と地域・国際社会への貢献』	東京、福井	外務省、在モンゴル日本国大使館

（2）フォローアップ事業 3 件 合計参加人数 99 名

実施日	参加 人数	参加者構成・内容
2025 年 3 月 7 日	17	2017～2019 年度、2022～2024 年度の招へいプログラム参加者／日本人大学生 オンラインセミナー
2025 年 3 月 7 日	6	2017～2019 年度、2022～2024 年度の招へいプログラム参加者／日本人大学生 オンライン学生会議
2025 年 3 月 22 日	76	2017～2019 年度、2022～2024 年度の招へいプログラム参加者／招へい関係者 モンゴル現地での同窓会

3. その他交流事業 ※会館予算で実施

①日中友好・人文交流フォーラム

実施日	参加人数	参加者の構成、テーマ	共催機関
2024 年 9 月 23 日	約 60 名	中国人権発展基金会 訪日団一行／ 日本の学者・有識者・学生等 『グローバルズムの下の日中関係』 『ポストコロナの日中民間交流』 『青年が日中民間交流と相互理解の 促進のために果たす役割』	中国人権発展基金会 （後援：中華人民共和国 駐日本国大使館）

(公2) 寄宿舍施設の運営 : 留学生事業部

中国留学生・研究員の受入事業用施設として「後楽寮」及び「後楽寮研修棟」がある。「後楽寮」には203室（1階～3階）、「後楽寮研修棟」には18室（後楽ガーデンホテル3階）がある。

1. 後楽寮入退寮状況

(1) 資格区分別入退寮者数

	2024年4月1日 時点の在寮生数	2024年度		2025年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
国家公派	113	97	96	114
単位公派	0	2	0	2
自費学生	11	4	5	10
華僑学生	1	1	1	1
合 計	125	104	102	127

* 国家公派とは中国国家留学基金管理委員会（CSC）の派遣留学生・研究員

* 単位公派とは地方大学、研究所の派遣留学生・研究員、訪問学者

* 自費学生は大学院課程生（修士課程・博士課程）、交換留学生

(2) 男女別入退寮者数

	2024年4月1日 時点の在寮生数	2024年度		2025年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
男 子	66	58	55	69
女 子	59	46	47	58
合 計	125	104	102	127

2. 後楽寮研修棟入退寮状況

(1) 資格区分別入退寮者数

	2024年4月1日 時点の在寮生数	2024年度		2025年3月31日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
国家公派	3	4	6	1
単位公派	2	1	2	1
合 計	5	5	8	2

※2024年9月18日より入寮停止

* 国家公派とは中国国家留学基金管理委員会（CSC）の派遣留学生・研究員

* 単位公派とは地方大学、研究所の派遣留学生・研究員、訪問学者

(2) 男女別入退寮者数

	2024 年 4 月 1 日 時点の在寮生数	2024 年度		2025 年 3 月 31 日 現在の在寮生数
		入寮生数	退寮生数	
男 子	2	2	3	1
女 子	3	3	5	1
合 計	5	5	8	2

3. 開館以来の入退寮状況

「後楽寮」は 1985 年 4 月に、また「後楽寮研修棟」は 1988 年 4 月に開設された。それぞれ約 40 年および 37 年が経過したが、その間の入退寮者の総数は下記表の通り。

(2025 年 3 月末現在)

	入寮数	退寮数
後 楽 寮	4,514	4,388
後楽寮研修棟	1,121	1,119
合 計 (人)	5,635	5,507

4. 後楽寮修繕・改修工事

寮の老朽化に伴い、主に汚水ポンプ更新工事、排煙窓修繕工事をはじめとする各種修繕・工事を実施した。このほか、研修棟を含む寮全体の建築設備定期検査、消防・電気・空調設備の定期点検、厨房等共同施設設備の各種定期清掃を実施している。

また、寮生の生活環境改善のため居室冷蔵庫（10 台）の交換を行った。

5. 活動実績

(1) 寮内行事

国慶節祝賀会を 9 月 30 日、春節祝賀会を 2025 年 1 月 19 日に開催した。この後楽寮の 2 大祝賀会は自治組織である寮生委員会主催による行事であり、ホームステイや交流行事でお世話になった方々を招待し交流を深め、また寮生同士の親睦をはかる行事でもある。そのほか、留学生事業部は寮生委員会との協議会を定期的の実施し、後楽寮の生活改善のために意見交換や情報交換を行った。

<主な行事>

- 5 月 16 日 日本留学生宿舎財団協議会定例会（ほか、9 月 5 日、2025 年 1 月 16 日）
- 6 月 21 日 新入寮生懇親会
- 7 月 31 日 第 39 回岸本奨学金授与式
- 9 月 30 日 後楽寮国慶節祝賀会（寮生 85 名、招待者 38 名、役職員が参加）
- 11 月 14 日 防災訓練

2025 年

- 1 月 19 日 後楽寮 2025 年春節祝賀会開催（寮生約 100 名、来賓・関係者約 40 名）
- 1 月 28 日 春節前夜餃子宴（寮生への餃子等提供）
- 3 月 19 日 池袋防災館 防災学習

(2) 寮外行事

外部の団体が主催する多くの行事に寮生が参加した。コロナ禍以降 5 年ぶりに再開した長野県日中友好協会によるホームステイのほか、都内各区の日中友好交流行事へも参加し、留学生事業部が支援した。日々忙しい留学生生活を過ごす寮生にとって貴重な体験となった。

<主な行事>

- 4 月 21 日 北区日中友好協会 スポーツ交流会
- 5 月 24 日 北区日中友好協会 日中友好促進懇談会
- 7 月 23 日～25 日 長野県日中友好協会 ホームステイ
- 8 月 6 日 東京都北区主催納涼盆踊り、及び北区日中友好協会主催懇親会
- 12 月 13 日 藤沢市視察体験学習

2025 年

- 1 月 12 日 東京華僑総会新年会
- 3 月 8 日 文京区都市交流フェスタへの出展
- 3 月 30 日 千代田区日中友好協会 お花見クルーズ

(3) その他

・後楽寮居室工事

設立後約 40 年が経過し、2003 年に居室の改修工事、2015 年頃に共用部分等の改修工事を実施したが、老朽化が著しく、一部の部屋はカビの発生や、窓が開かない等の理由から使用できない状態となっている。以上の状況から寮居室の内装等を改修する必要が生じており、2025 年 5 月着工に向けた計画を策定した。

・後楽寮食堂

調理師が 1 名のため、現状では原則として下記の要領で営業中。効率化を図るため、2025 年 1 月より事前予約制を導入している。

営 業 日：水・木・金・土・日

定 休 日：月・火・祝日

営業回数：1 日 2 回（昼・夜）

価 格：1 食 800 円

- ・ 後楽寮研修棟一般客室化

後楽寮研修棟として利用してきた後楽ガーデンホテル 2 階部分は 2023 年 12 月から一般客室としての運用を開始しているが、3 階についても現在入寮中の 2 名退寮後、一般客室化の運用を検討中。

(公3) 中国語及び日本語教育 : 日中学院

1. 活動状況

入学式 (4月5日)
 本科 (2年、研究科) ・日本語科合同都内見学 (4月26日、浅草)
 本科・日本語科合同合宿 (5月30、31日、千葉県白子町)
 本科 (2年) 中国短期研修 (6月24日～7月28日、中国人民大学)
 本科 (1年) ・日本語科 (1年) 合同朗読大会 (7月3日)
 本科 (1年) ・日本語科合同防災館見学 (9月13日)
 文化祭 (10月26日)
 本科・日本語科合同スピーチ大会 (2025年2月5日)
 卒業式 (2025年3月15日)
 学院報 559～562号 (3ヶ月毎の季刊号)

2. 学科状況

	定員	2024年度	2023年度	2022年度
本科 1年	40 (2)	5 (1)	6 (1)	6 (1)
本科 2年	40 (2)	7 (1)	7 (1)	8 (1)
本科 研究科	20 (1)	2 (1)	3 (1)	2 (1)
日本語科 1年	40 (2)	24 (2)	7 (1)	12 (1)
日本語科 2年	40 (2)	8 (1)	6 (1)	0 (-)
日本語科 10月生1年	20 (1)	17 (1)	0 (-)	6 (1)
日本語科 10月生2年	20 (1)	1 (-)	4 (1)	0 (-)
別科 昼間講座	360	211	248	282
別科 夜間講座	360	82	71	73
合計		357	352	389

※ () はクラス数

3. 各科活動状況

(1) 本科

- ①2024年度卒業生数 本科 7名 研究科 2名
 ②公開講座 8月24日、11月9日、2025年1月25日
 ③進路指導
 ・1年個人面談 5月24、25日
 ・2年個人面談 4月17、19日、9月4、9日

(2) 日本語科（専門課程）

①2024 年度卒業者数 9 名

②2024 年度の主な行事

歌舞伎鑑賞教室（6 月 23 日）、箱根バスハイク（12 月 6 日）、能舞台見学（2025 年 1 月 22 日）

春節パーティ（2025 年 1 月 28 日）、卒業旅行メイキング・オブ・ハリー・ポッター（2025 年 3 月 5 日）

③進路指導

個人面接（7 月 26 日）

(3) 別科（付帯教育）

①公開無料講座 年間 12 回

(公4) 文化事業 : 文化事業部

《2024 年度の文化事業》

主催事業 : 3 件、共催・協力事業等 : 3 件、会館美術館での貸美術館催事 : 9 件。

1. 主催事業 (2024 年 4 月～2025 年 3 月)

(1) 催 事 : 「光影共鳴～ゆるかわふうの光彫り世界と柴廣義の中国の影絵人形」

会 期 : 2024 年 7 月 5 日(金)～8 月 4 日(日)

来館者数 : 2,298 人 (27 日間・1 日平均 85 人)

本展は、光と影という共通のテーマのもと、光彫り作家ゆるかわふう氏の光彫り作品 6 点と中国影絵人形作家の柴廣義氏の皮影（ピーイン）作品 7 点を展示した。

本展では、美術館内の照明を落とし、作品が発する LED の光の中で作品を鑑賞していただいた。ゆるかわふう氏の光彫り作品は最新の断熱材を材料に使用し、青色を基調とした幻想的な雰囲気由来館者を魅了し、柴廣義氏の作品は動物の皮を材料に伝統的な技法で色鮮やかに表現し、来館者を楽しませた。会期中、対話型アート鑑賞会、中国皮影戯公演を開催し、展覧会の世界観をより深く理解してもらうことができた。

また、来館者からは以下の声が寄せられた（一部抜粋）。

- ・光と影というコンセプトが面白かった。どちらも作品を作る重要な要素として光を使うという共通点が面白い。
- ・中国の影絵の世界と、ゆるかわふうさんの光彫りの世界を同時に体験することができ、文化的、視覚的に満足を感じられる美術展だった。
- ・通りすがりに立ち寄りましたが光と影と静かな BGM が素敵なテーマと演出だった。
- ・皮影はとてもきれいで、配色のバランスが良かった。光彫りは光と影を巧みに利用した作品で、発泡材でも繊細な表現ができるのだと感心した。

(2) 催 事 : 2024 年特別企画「長安・夜の宴～唐王朝の衣食住展～」

会 期 : 2024 年 10 月 11 日(金)～12 月 1 日(日)

来館者数 : 12,528 人 (45 日間・1 日平均 278 人)

本展は、いまから 1400 年前の中国唐王朝の都一長安の衣食住および娯楽文化等に着眼し、当時の服装やアクセサリ、食器や茶道具、書画や楽器など、古代遺物や複製品約 130 点を展示した。会期中の来館者数は 12,528 人で 1988 年の美術館開設以来、一つの主催催事における来館者数の最高記録を更新した。本展では、「夜の宴」をコンセプトに掲げ、「築く・住む」「装う・彩る」「食す・飲む」「楽しむ・ときめく」の 4 章に

分けて展示紹介し、楽しみながら唐王朝の衣食住について理解できる体験型の展覧会となった。関連イベントとして唐楽器コンサート、唐人祭り、特別記念講演、映画上映会、ナイトミュージアムなどのイベントを開催し、いずれも好評を博した。

また、来館者からは以下の声が寄せられた（一部抜粋）。

- ・長安時代の衣食住、音楽がコンパクトに展示されていて良かった。
- ・貴重な作品が展示されていて、唐の時代の文化の素晴らしさを理解する事ができた。
- ・展示品が多く見応えがあった。特に、唐の時代の服装や髪型に関する展示品や詳しい解説がとても勉強になった。
- ・貴重な資料と充実した解説で唐の時代をリアルに身近に感じることができた。関連イベントも興味深く、何度か足を運びたい。コンサートを拝聴したが、素晴らしい演奏と演者の方の素敵な衣装に、本当に唐の時代を垣間見たような気持ちになった。

- (3) 催 事：2025 年新春展「希望の野原で－貴州水城絵画展」
会 期：2025 年 2 月 8 日(土)～3 月 16 日(日)
来館者数：2,782 人（32 日間・1 日平均 87 人）

本展は貴州省人民政府新聞辦公室との共催により、貴州省六盤水市（通称：水城）の画家、約 30 名がそこに暮らす様々な少数民族の民間芸術の要素を取り入れ、鮮やかな色使いと素朴なタッチで描いた約 40 作品を展示した。日常生活やお祭りの様子、作物の収穫風景などが季節感・生活感豊かに表現され、中国少数民族の多様性や広く中国伝統文化の魅力を伝えた。また、初めての試みとして「文の京ミューズフェスタ」にブース出展したほか、(公財)文京アカデミーとの共催で文の京コミュニティコンサートを開催し、当美術館の認知度向上に貢献した。

また、来館者からは以下の声が寄せられた（一部抜粋）。

- ・貴州にこんな独特な絵画文化があったとは知らなかった。もっと詳しく知りたい。
- ・貴州に興味があったが、その文化に触れる機会がなかった。今回の展覧会で更に興味が湧いた！ぜひ行ってみたい！
- ・日本国内ではあまり目にする機会の少ない貴州省の絵画が鑑賞でき良かった。
- ・少数民族の衣装やその地の動物など人々の生活が生き生きと描かれており、素朴な味わいを感じられた。素晴らしかった。
- ・楽しさや嬉しさ、生活の機微、自然のたおやかさが伝わってきた。素敵だった。

2. 共催・協力事業等：（2024 年 4 月～2025 年 3 月）

(1) 共催事業

① 第 7 回「国航杯」在日華僑華人子女中国語スピーチコンテスト

在日華僑華人子女の中国語学習や中国文化に対する興味を深めるため、若い世代を中心とした日中友好の人材を育成するためのコンテスト。「日中友好会館特別賞」を設置。

主催：中国国際航空公司日本支社、人民日報海外版日本月刊、（公財）日中友好会館
会期：2024 年 11 月 10 日（日） 会場：日中友好会館地下 1 階大ホール

(2) 協力事業

① 「中国辺境地区における人々の生活」写真展～

本展は、中国辺境地区に住む各民族の人々の素朴で平凡、リアルな生産活動や日常生活の様子が撮影された写真パネル約 100 点を展示。

主催：中国人権発展基金会

協力：（公財）日中友好会館

会期：2024 年 9 月 21 日（土）～ 27 日（金） 会場：アーロンギャラリー

②悠久の時空写真展

本展は、前駐中国特命全権大使の垂秀夫氏と中国新疆ウイグル自治区で活躍する写真家の楊新才氏による日中両国の美しい自然や街角の風景、シルクロードの遺跡など、写真約 50 点を展示。

主催：悠久の時空写真展実行委員会

協力：（公財）日中友好会館

会期：2025 年 1 月 14 日（火）～ 24 日（金） 会場：日中友好会館美術館

3. 貸美術館催事実績（2024 年 4 月～2025 年 3 月）

	展覧会名	会期	主催
1	呉昌碩生誕 180 年記念・歴代中国書畫展	2024 年 4 月 22 日～4 月 26 日	(株)萬葉堂（日本華人文聯）
2	第七回御雲文化芸術展－中国故宫博物院 收藏書画作品再現展	2024 年 5 月 14 日～5 月 17 日	御雲文化発展(株)
3	松風水月書画展(東京)	2024 年 5 月 21 日～5 月 28 日	楽傳印社
4	日中友好名家書画交流展	2024 年 8 月 20 日～8 月 22 日	(株)華人 Channel Japan、日本ノ ア文化(株)

5	水墨自貿港——海南画派中国画名家日本 (東京) 邀請展	2024 年 8 月 26 日～9 月 2 日	中国海南省文学芸術連合会、中国 海南省美術家協会
6	中華優秀伝統文化アニメ美術原作展	2024 年 9 月 5 日～9 月 13 日	中国伝媒大学、日本画観アニメ文 化(株)
7	文房清玩珍藏展	2024 年 9 月 19 日～9 月 24 日	渡邊久雄
8	悠久の時空写真展 ※協力展	2025 年 1 月 14 日～1 月 24 日	悠久の時空写真展実行委員会
9	白魚の神殿－李泊衡博士 個展	2025 年 3 月 24 日～3 月 27 日	李泊衡

(公5) 植林・植樹事業 : 総合交流部

外務省の拠出(2016年3月)による「日中植林・植樹国際連帯事業」を実施した。

中国における植林事業及び第三国での植林・植樹事業では、植林事業6件(中国3件、トルコ1件等)を実施したほか、植樹交流事業として、第三国への派遣事業を実施した。

また、「日中植林・植樹国際連帯事業」は、2024年度末をもって終了する可能性が高かったため、助成を通じた中国における植林事業及び第三国での植林・植樹事業については、2024年度新規事業の公募を行わず、2022年度及び2023年度に採択した事業(9件)の確実な実施を推進した。その上で、2022年度～2023年度助成事業について、実績報告と精算書類の精査を実施し、助成金を確定した。

日本国内での植樹と併せて行う中国からの招聘事業及び第三国からの招聘事業では、中国との間で招聘事業を18件、第三国・地域からの招聘を2件実施した。

なお、「日中植林・植樹国際連帯事業」は、2024年度末をもって終了となり、不用額47億1,240万283円を国庫に返納した。

1. 中国における植林事業、及び第三国での植林・植樹事業

(1) 中国における植林事業

下記3件の事業を実施した。日本側が経費負担する作業は全て完了しているが、下記②、③の事業については、2025年3月末で日中植林・植樹国際連帯事業が終了した後も覚書記載の事業実施期間終了までは中国側にて事業が継続される。

①事業名：山西省大同市 日中植樹・植林協力プロジェクト

植林場所：山西省大同市雲州区西坪鎮瓜園村

植林面積：80ヘクタール

中国側関係機関：中国国家林業・草原局、

山西省林業・草原局、山西省桑干河ポプラ豊産林実験局

事業実施期間：2024年3月～2025年3月

②事業名：日中協力陝西省岐山県植樹造林プロジェクト

植林場所：陝西省宝鶏市岐山県京当鎮

植林面積：約68.2ヘクタール

中国側関係機関：中国国家林業・草原局、陝西省林業局、岐山県林業局

事業実施期間：2025年1月～2025年12月

③事業名：寧夏平羅植樹造林プロジェクト

植林場所：寧夏回族自治区石嘴山市平羅県陶楽固砂営林場

植林面積：46.67ヘクタール

中国側関係機関：中国国家林業・草原局、
寧夏回族自治区林業・草原局、平羅県林業・草原局
事業実施期間：2025 年 1 月～2025 年 12 月

(2) 第三国での植林・植樹事業

下記 3 件の事業を実施した。終了後も事業を継続する（当会館が受託するかは未定）。
※第三国事業については、日本政府の予算によって当該第三国側との二国間協力事業として実施されている。

①事業名：モンゴル北部地域における森林再生のための植林事業

（対象国：モンゴル）

植林場所：オルホン県 バヤンウンドゥル郡

植林面積：10 ヘクタール

モンゴル側関係機関：オルホン県自然環境・観光局、オイスカモンゴル

事業実施期間：2023 年 8 月～2026 年 8 月

②事業名：モンゴル南部地域におけるサクサウル林の再生事業

（対象国：モンゴル）

植林場所：ウムヌゴビ県セブレイ郡

植林面積：10 ヘクタール

モンゴル側関係機関：ウムヌゴビ県自然環境・観光局、オイスカモンゴル

事業実施期間：2024 年 10 月～2027 年 9 月

③事業名：アンタルヤ県の植林再生支援（対象国：トルコ）

植林場所：アンタルヤ県 マナブガット郡

植林面積：66.4 ヘクタール

トルコ側関係機関：トルコ森林総局

事業実施期間：2023 年 10 月～2025 年 12 月（作業は完了済）

(3) 植樹を伴う交流事業 1 件 合計派遣人数 13 名

・2024 年度日本青年友好植樹団モンゴル派遣

事前オリエンテーション ／派遣期間	派遣 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
9 月 18 日／ 9 月 22 日 ～9 月 28 日	13	団長 1 名、団員（日本大学生・大学院生）9 名 事務局 3 名 『環境保護』	ウランバートル市、 ホスタイ (モンゴル)	受入協力： 在モンゴル 日本国大使館

2. 助成を通じた中国における植林事業、及び第三国における植林・植樹事業

日本の NGO 等民間団体や日本の地方自治体が対象国内の団体と協力して実施する植林事業に対する助成事業。中国及び主に東南アジアを中心とする日中両国以外の国・地域（第三国）を対象とし、対象国内の砂漠化防止、水害防止、熱帯林再生、その他環境の保全・回復や防災等に資するような植林事業に助成する。助成対象には現地での植林活動への日本からの参加者の派遣を含む。

(1) 2021 年度助成事業

2023 年 1 月に終了した以下の事業について、現地視察（事後調査）を行った。

事業名：河北省張家口市蔚県における緑化協力事業

対象国：中国

団体名：認定特定非営利活動法人 緑の地球ネットワーク

事後調査期間：2024 年 4 月 24 日

※同団体が実施した、令和 2（2020）年度事業（2022 年 3 月終了）、2022 年度事業（2024 年 1 月終了）についても、同時に調査を実施した。

(2) 2022 年度助成事業

全事業の実績報告・精算書類の精査を終え、助成金の確定・支払いを完了した。コロナ禍が収束に向かい、多くの事業で、これまでほとんど実施が叶わなかった技術者やボランティア等の現地への派遣が実現し、技術交流、人的交流の面でも成果を得ることができた。一部中止となる事業もあり、最終的な実績は以下のとおりとなった。

交付決定時：交付決定件数 12 件（中国 5 件、第三国 7 件）

交付決定額総額：8,851 万 1,000 円

最終実績：実施件数 11 件（中国 4 件、第三国 7 件）

助成金確定額総額：7,165 万 1,682 円

上記のほか、第三国 7 件のうち 4 件の事業に対し、2 年目の下刈・保育作業の助成金計 282 万 8,910 円を確定した。

(3) 2023 年度助成事業

全事業の実績報告・精算書類の精査を終え、助成金の確定・支払いを完了した。乾燥地や湿地等、多種多様な植林地における事業を展開し、植林面積の拡大のみならず、人的交流、持続可能な開発のための教育等、多くの成果を得ることができた。最終的な実績は以下のとおりとなった。

交付決定時：交付決定件数 9 件（中国 4 件、第三国 5 件）

交付決定額総額：7,587 万 1,000 円

最終実績：実施件数 9 件（中国 4 件、第三国 5 件）

助成金確定額総額：7,193万9,834円

3. 日本国内での植樹と併せて行う中国からの招聘事業、及び第三国・地域からの招聘事業

2024年度は、期初に422名（中国140名、第三国・地域282名）の招聘を計画したが、期中に事業計画及び予算額を大幅に上方修正し、結果として、中国からは18団972名、第三国・地域からは、それぞれ当該第三国・地域関係者と協力し、2年ぶりの実施となる「若き津波防災大使」等、2団287名を招聘した。

中国からの招聘では、日中の小中高生による合同演奏会の実施やデザインをテーマとした高校生の招聘、中国の重点大学からの大型招聘を行ったほか、社会人では、甘肅省代表団、非政府組織極地未来代表団、国家インフォメーションセンター代表団などを実施した。

(1) 中国からの招聘事業 18件 合計招聘人数972名

ア 中国高校生招聘事業（高校生を含む学生で構成される事業を含む）4件 280名

①2024年度中国高校生訪日団 ※イオンコンパス（株）に委託

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2024年 11月2日／ 11月10日 ～11月16日	90	吉林省、湖南省、雲南省の高校生 『環境、防災』	東京、宮城、 滋賀、長野	中国教育部

②2024年度中国荷風環境・防災芸術交流団 ※（株）JTBに委託

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2024年 11月14日／ 11月20日 ～11月26日	100	江蘇省蘇州市張家港市、河北省雄安 新区、山西省大同市天鎮県の児 童楽団・合唱団等に所属する小学 生（高学年）・中学生 『環境・防災』	東京、千葉、 埼玉	北京荷風芸術基 金会 （派遣協力：在 中国日本国大使 館）

③2024年度中国高校生デザイン交流訪日団 ※イオンコンパス（株）に委託

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2024年 12月1日／ 12月8日 ～12月14日	60	上海市・浙江省・江蘇省の高校生 『デザイン（災害に強い都市デザインや 地域振興に資するデザイン等）』	東京、神奈川、 熊本、香川、 京都、大阪	中国教育部 （派遣協 力：在上海 日本国総領 事館）

④2024 年度日中恐竜交流青少年代表团 ※（株）JTB に委託

事前リエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2025 年 2 月 3 日／ 2 月 9 日 ～2 月 15 日	30	恐竜及び古生物学研究の分野、及び 日本との交流に関心のある小学生 （高学年）から大学生 『環境・防災』	東京、 神奈川、 福井、千葉	邢立達 中国地質 大学（北京）准教 授 （派遣協力：在中 国日本国大使館）

イ 中国大学生招聘事業（大学生を主体とした事業を含む） 5 件 408 名

①2024 年度海南瓊台師範学院学生代表団 ※（株）JTB に委託

事前リエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2024 年 8 月 20 日／ 8 月 25 日 ～8 月 31 日	30	海南瓊台師範学院に所属する大学生・ 大学院生 『環境・防災』	東京、 兵庫 京都	海南瓊台師範学院 （派遣協力：在広 州日本国総領事 館）

②2024 年度清華大学学生代表団 ※（株）JTB に委託

事前リエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2024 年 9 月 19 日／ 9 月 23 日 ～9 月 29 日	99	清華大学に所属する大学生・大学院生 『環境・防災』	東京、 和歌山、 大阪	清華大学 （派遣協力：在 中国日本国大使 館）

③2024 年度上海交通大学次世代日中友好団 ※（株）JTB に委託

事前リエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2024 年 11 月 5 日／ 11 月 17 日 ～11 月 23 日	149	上海交通大学に所属する大学生・ 大学院生『環境・防災』	東京、大阪、 静岡、愛知	上海交通大学、 （派遣協力：在 上海日本国総領 事館）

④2024 年度中国大学生友好交流訪日団 ※（株）JTB に委託

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2024 年 11 月 13 日／ 11 月 24 日 ～11 月 30 日	100	山東省、遼寧省、安徽省の大学生・ 大学院生 『環境・防災』	東京、和歌山、 富山、高知	中国日本友好 協会

⑤2024 年牧雲社日中芸術交流青年代表団 ※（株）JTB に委託

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2024 年 11 月 24 日／ 12 月 1 日 ～12 月 7 日	30	各種芸術分野に才能、興味を持つ青少年 『環境・防災』	東京、香川、 京都	北京牧雲文化 芸術基金会 (派遣協力： 在中国日本国 大使館)

ウ 中国青年招聘事業 9 件 284 名

①2024 年度中国農村青年幹部代表団

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2024 年 8 月 22 日／ 8 月 27 日 ～8 月 31 日	29	中国の農村青年幹部（大学生村官） 『環境に配慮した農業』	東京、茨城	中国日本友好協会

②2024 年度中国建築住宅視察訪日団 ※イオンコンパス（株）に委託

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2024 年 9 月 4 日／ 9 月 9 日 ～9 月 13 日	20	中国不動産協会及び中国住宅都市農村建 設部に所属する青年『バリアフリー住 宅、高齢者住宅、既存建築のバリアフリ ー 改修、グリーン(省エネ・ゼロエネ) 建築・住宅』	東京、 京都、 奈良、 大阪	中国不動産協会、 中国住宅都市農村 建設部 (派遣協力：在中 国日本国大使館)

③2024 年甘肅省青年代表団 ※イオンコンパス（株）に委託

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2024 年 10 月 16 日／ 10 月 20 日 ～10 月 26 日	30	甘肅省の敦煌研究院・省文物局・ 省博物館等からなる文物部門、防 災・応急管理部門、環境保護部 門、省弁公庁・外弁などの主要部 門等に所属する若手職員 『環境保護、防災・救援、文化財 保護』	東京、京都、 滋賀、奈良、 大阪	甘肅省人民政府 外事弁公室 (派遣協力：在 中国日本国大使 館)

④2024 年度中国生態環境保全・低炭素発展業務青年代表団

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2024 年 10 月 15 日／ 10 月 27 日 ～11 月 2 日	29	中国生態環境部及び日中友好 環境保全センターに所属する 若手職員 『グリーン低炭素発展』	東京、 茨城、 福岡	日中友好環境保全セ ンター、(派遣協 力；在中国日本国大 使館、実施協力：環 境省、(公財)地球 環境戦略研究機関

⑤2024 年日中緑化協力林業青年代表団

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2024 年 10 月 24 日／ 10 月 28 日 ～11 月 1 日	30	中国国家林業・草原局及び関連機 関に所属する青年 『林業改革、森林の持続可能な経 営』	東京、山梨	中国国家林業・ 草原局

⑥2024 年度極地未来青年代表団 ※イオンコンパス（株）に委託

事前オリエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2025 年 1 月 11 日／ 1 月 19 日	30	非政府組織「極地未来」の若手関係者 『日本の気候変動・自然環境保全に係 る政策』	東京、 茨城、 北海道	非政府組織「極 地未来」(派遣協

～1月25日				力：在中国日本 国大使館)
--------	--	--	--	------------------

⑦2024年度中国青年公益事業交流団 ※イオンコンパス（株）に委託

事前リエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2025年 2月19日／ 2月24日 ～3月2日	93	中国の大学生・青年 『環境・防災』	東京、愛知、 三重、宮城	中国宋慶齡基金会

⑧国家インフォメーションセンター青年訪日代表団 ※（株）JTBに委託

事前リエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2025年 3月7日／ 3月10日 ～3月14日	3	国家インフォメーションセンターの若 手職員 『グリーン化、デジタル化、マクロ経 済』	東京、茨城	国家信息中心 (派遣協力：在 中国日本国大使 館)

⑨2024年度日中青年メディア交流代表団 ※イオンコンパス（株）に委託

事前リエンテーション／ 招聘期間	招聘 人数	団員構成・地域・テーマ	訪問先	担当機関
2025年 3月12日／ 3月16日 ～3月22日	20	中国の若手メディア関係者 『環境・防災』	東京、愛知、 三重、神奈川	在中国日本国大 使館

(2) 第三国・地域からの招聘事業 2件 合計招聘人数 287名

※第三国・地域の事業については、日本政府の予算によって当該第三国・地域側との二国間協力（下記①は多国間協力）の事業として実施されている。

①若き津波防災大使 ※中国以外の他国・地域の実施は(株)JTBに委託

実施期間	参加人数	団員構成(参加国)	訪問先	担当機関
2024年 10月19日～25日	255	43カ国・地域の高校生(212名) ・引率(43名)	東京、熊本	各国関係 機関等

(※) 43 カ国・地域(中国 6 名/他国・地域 249 名) :

アンゴラ/インド/インドネシア/オーストラリア/オランダ/カナダ/韓国/カンボジア/
 キリバス/クック諸島/サモア/シンガポール/スリランカ/ソロモン諸島/タイ/台湾/
 中国/チリ/ツバル/ドイツ/トルコ/トンガ/ナウル/ニュージーランド/バヌアツ/
 パプアニューギニア/パラオ/ハワイ/フィジー/フィリピン/ブラジル/フランス/ブルネイ/
 ベトナム/ペルー/マーシャル諸島/マレーシア/ミクロネシア/メキシコ/モルディブ/
 モンゴル/モンタナ/ラオス

②モンゴル青年環境視察交流訪日招へい ※(株)JTB に委託

実施期間	参加 人数	団員構成	訪問先	担当機関
2025 年 3 月 11 日～18 日	32	モンゴルの高校生・大学生等	東京、 鹿児島	在モンゴル日本国 大使館

〔Ⅱ〕収益事業

オフィスビル賃貸事業及びホテル運営業務：

1. オフィスビル賃貸事業（後楽国際ビルディング）

2024年度の賃貸料収益は約709百万円であり、対前年度比で約3百万円の増収となった。

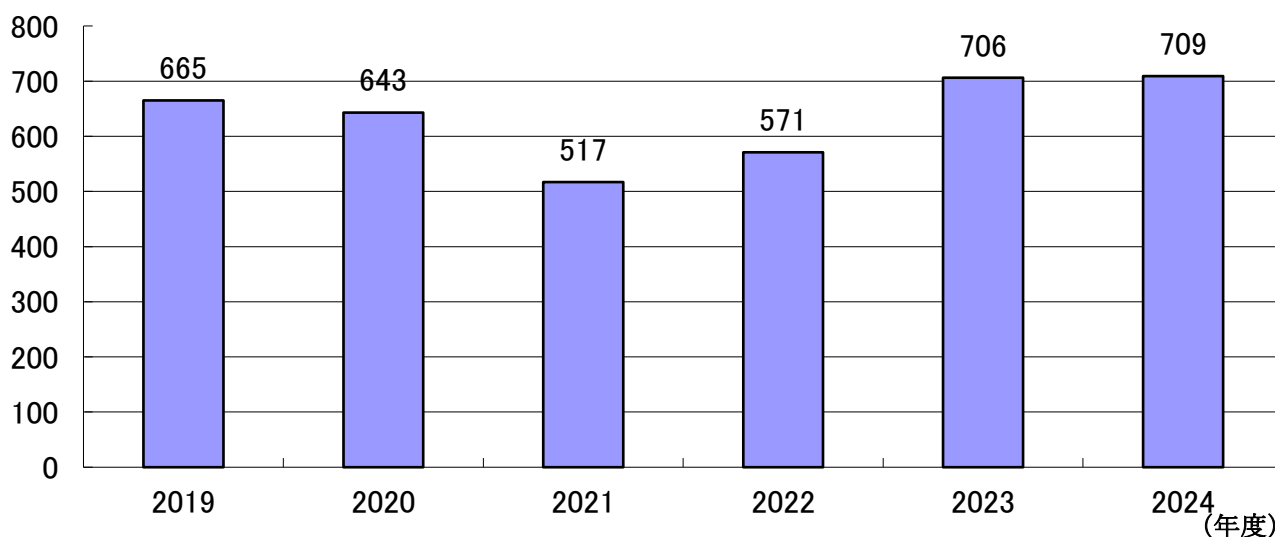
年度当初、オフィスフロアは一部倉庫を除き満室稼働であり、店舗もすべて満室であったが、直貸しテナントの「中国料理 楓林」が5月31日に退去し、オフィスフロア1テナントも8月31日に退去した。その後オフィスは11月1日に後継テナントが入居したが、「楓林」跡地は、埋め戻しには至っていない。

なお、退去したオフィステナントは定期借家契約であり契約期間が残っていたため、解約違約金として45百万円が支払われている。

年度末時点のテナントの入居状況は「添付資料①テナント入退去状況一覧表（2025年3月31日現在）」参照。

（単位：百万円）

賃 貸 料 収 益（年度別推移）

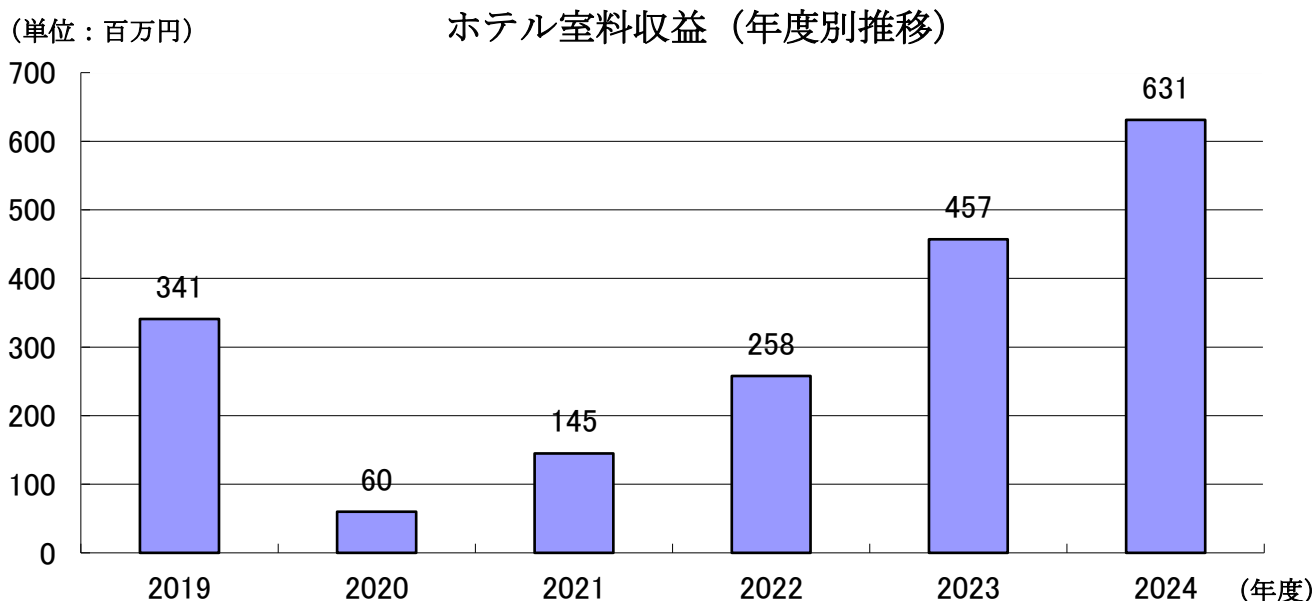


※賃貸料収益には、テナント賃料の他、駐車場・駐輪所使用料、大ホール・会議室使用料等の収入が含まれている。

2. ホテル運営業務（後楽ガーデンホテル）

2024年度は、売上は631百万円、平均稼働率84.0%、平均単価は12,222円であり、昨年度より客室稼働率は下がったが、平均単価が大きく上がったため、174百万円の増収となり、過去最高の売上・平均単価を記録した。円安が追い風となってインバウンドが増加し、周辺ホテルの稼働率・平均単価はさらに上昇してきており、当面はこの増収傾向が続

くものと思われる。



※ホテル室料収益には、ホテル客室（167室）の売上に加え、3階研修棟（20室）の売上も加算されている。

3. 設備投資計画

設備改修・修繕工事等は設備投資計画書に基づいて実施している。しかし、2021年度、2022年度と可能な限り工事計画を抑制したため、設備の劣化が進み、破損、故障などが頻発しており、その修理にも対応した結果、総額で284百万円の工事を実施した。

2024年度実績は、添付資料②「2024年度 資金調達及び設備投資計画書 執行状況（実績）」参照。

期間中に実施した主な工事は下記の通り。（番号は添付資料②の表中の番号）

「設備投資計画書の工事区分 工事項目／実施時期 工事金額（税抜）」

(1) 後楽ガーデンホテル

1-② 水道メーター更新工事 /5月 3,300千円

1-⑦ ベッドマットレス交換 /2025年3月 5,882千円

1-⑨ その他建築・機械・電気設備改修工事 15,199千円

（内、地下4階貯湯槽用配管漏水修理工事） /5月 2,682千円

（内、3024号室FCUドレン配管閉塞修理工事） /10月 1,300千円

（内、客室コンセント増設工事（11階・10階・9階・4階））

/2025年1月 1,480千円 他

(2)後楽国際ビルディング

2-③ 空調設備修理工事 /9月 1,800千円

2-④ 通気管更新工事・地下1階污水配管接手更新工事 /7月 25,700千円

2-⑤ その他建築・機械・電気設備改修工事 19,177千円

(内、3階10階トイレ改修工事) /5月 15,000千円

(内、防犯カメラシステムレコーダー更新) /2025年3月 1,100千円 他

(3)会館施設

3-①-1 地下2階小会議室ファンコイル3方弁交換/9月 1,800千円

3-①-3 建物鑑定費用 /5月 1,100千円

(4)会館収益施設

4-②-2 音響設備更新工事 /7月 8,800千円

(5)後楽寮及び研修棟

5-⑤ その他建築・機械・電気設備改修工事

(内、污水ポンプ更新工事) /7月 4,800千円

(内、排煙窓修繕工事) /1月 5,900千円

(6)本館共通

6-① 消防設備改修 /7月 7,950千円

6-② 外壁改修工事 /3月 67,445千円

6-③ 揚水ポンプ更新 /3月 6,750千円

6-④ 受電設備更新工事 /5月 19,000千円

6-⑤ 荷捌シャッター更新工事 /4月 5,500千円

6-⑥ その他建築・機械・電気設備改修工事

(内、地下2階PS内通気管継手更新) /9月 1,000千円

(内、地下1階給水バルブ交換工事) /9月 1,300千円

(7)別館共通

7-③ 屋上防水改修工事 /9～3月 66,555千円

(8)敷地内外構共通

8-① 制水弁修理に伴う看板撤去・復旧 /9月 2,490千円

(内、敷地外周部プランター更新工事) /10月 1,439千円

〔Ⅲ〕その他の事業

1. 会員相互友好事業 ：日中友好後楽会

賛助会員組織「日中友好後楽会」は、会館の施設を活用し中国人留学生と直接交流を行うことで相互理解を深め、日中双方の親睦の促進を目的として1989年7月発足(当初の会員は90名)。

① 会員数

2025年3月末現在の会員数は48名、法人会員1社。個人会員は前年度末から4名増加、法人会員は同数であった。

② 会員総会

5月17日に後楽会会員総会を開催。小川理事長挨拶後、日中学院 斎藤法雄学院長が中国体験談を紹介。2019年11月以来、4年半ぶりの総会開催となった。

③ 談話会

通例として、談話会は後楽寮生を講師として招き専門分野における研究成果の一端を披露している。9月12日に、早稲田大学で訪問学者として中国現代文学史、魯迅を研究している後楽寮生が、「魯迅と日本」というテーマで中国の近代文学の父・魯迅の日本における足跡について講演。3年ぶりの談話会開催となった。

④ 中国旅行

年に一度、会員を対象に中国旅行を実施。2020年度から2023年度まで新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止していたが、2024年度より再開し、10月に4泊5日で上海・北京を一行13名が訪問。

⑤ 会員向け文化講座

気功教室と中国画教室を専門家の指導の下、月2回（第1、第3木曜日）実施。気功教室は受講者数不足のため2024年8月以降休講中。

[IV] 法人の状況

1. 評議員会

開 催 日 時・場所	議 事 事 項
定時評議員会 2024 年 6 月 19 日（水） 日中友好会館大ホール	議題 第 1 号議案：次期評議員・理事・監事の選任 第 2 号議案：2023 年度事業報告・計算書類の承認
臨時評議員会（書面決議） 2024 年 10 月 9 日（水）	議題 第 1 号議案：2024 年度事業計画書および収支予算書の修正
臨時評議員会 2025 年 3 月 19 日（水） 日中友好会館大ホール	議題 第 1 号議案：2025 年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資計画書の承認 第 2 号議案：役員災害補償規程の制定 第 3 号議案：2025 年度常勤役員報酬の承認

2. 理事会

開催日時・場所	議 事 事 項
第 52 回理事会 2024 年 6 月 3 日（月） 日中友好会館大ホール	議題 第 1 号議案：2023 年度事業報告・計算書類の承認 第 2 号議案：次期評議員・理事・監事の理事会推薦候補の議決 第 3 号議案：賛助会員規程の改定 第 4 号議案：定時評議員会の招集の議決 報告事項 (1)代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況 (2024 年 3 月～2024 年 5 月) (2)諮問委員会の助言の報告
臨時理事会 2024 年 6 月 19 日（水） 日中友好会館 地下 2 階 会議室	議題 第 1 号議案：会長、副会長の選定 第 2 号議案：代表理事、業務執行理事、中国代表理事の選定

第 53 回理事会 2024 年 9 月 19 日（木） 日中友好会館大ホール	議題 第 1 号議案：2024 年度事業計画書及び収支予算書の修正 第 2 号議案：ハラスメント防止規程の制定 (採決に至らず次回へ持ち越し) 第 3 号議案：育児・介護休業等規則の改定 第 4 号議案：安全衛生規程の改定 第 5 号議案：マイカー通勤規程の改定 第 6 号議案：「日本語教育機関認定法」制定に伴う「認定日本語教育機関」の認定を受けるための申請について 第 7 号議案：重要な使用人の人事異動（2024 年 10 月 1 日付） 第 8 号議案：臨時評議員会招集の議決 (評議員会の決議の省略の方法による) 報告事項 (1) 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況の報告 (2024 年 6 月～2024 年 8 月) (2) 諮問委員会の助言の報告
第 54 回理事会 2024 年 12 月 13 日（金） 日中友好会館大ホール	議題 第 1 号議案：ハラスメント防止規程の制定 第 2 号議案：役員賠償責任保険の契約更新 第 3 号議案：重要な使用人の人事異動（2024 年 12 月 13 日付） 報告事項 (1) 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況 (2024 年 9 月～2024 年 11 月) (2) 新人事制度および規程改定に関する書面決議実施 (3) 日中学院の経営状況に関する報告

臨時理事会（書面決議） 2025 年 2 月 13 日（木）	議題 第 1 号議案：職員就業規則の改定 第 2 号議案：嘱託就業規則の改定 第 3 号議案：中国政府派遣職員就業規則の制定及び調理師嘱託就業規則の廃止 第 4 号議案：有期雇用職員就業規則の改定 第 5 号議案：パートタイマー就業規則の改定 第 6 号議案：育児・介護休業等規則の改定 第 7 号議案：職員給与規程の改定 第 8 号議案：職員退職金規程の改定 第 9 号議案：災害補償規程の改定 第 10 号議案：国内出張旅費規程の改定 第 11 号議案：海外出張旅費規程の改定 第 12 号議案：職員社宅規程の改定 第 13 号議案：コンプライアンス規程の改定 第 14 号議案：内部通報規程の改定
第 55 回理事会 2025 年 3 月 6 日（木） 日中友好会館大ホール	議題 第 1 号議案：2025 年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資計画書の承認 第 2 号議案：「日中青少年交流事業」諮問委員会規程の改定 第 3 号議案：青少年交流事業諮問委員の選任 第 4 号議案：文化事業諮問委員の選任 第 5 号議案：役員災害補償規程の制定 第 6 号議案：一部組織の改編の承認 第 7 号議案：重要な使用人の人事異動（2025 年 4 月 1 日付） 第 8 号議案：臨時評議員会の招集の議決 報告事項 (1) 会長訪中報告 (2) 代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況 (2024 年 12 月～2025 年 2 月) (3) 新人事制度に関する報告

3. 広報 : 広報チーム

組織横断型の広報チームが各部の意見を取りまとめ、より有意義な広報を目指して活動。

会館ホームページは、大幅なリニューアルを行い、8月に日本語版、11月に中国語版を公開した。新たなビジュアルを採用し、情報の見やすさ、使いやすさが充実して、安定して運営している。タイムリーな情報配信を心掛け、日中友好会館美術館での催事案内、総合交流部で実施した「JENESYS」各訪日団・訪中団の交流報告、植林・植樹事業の事業報告、後楽寮生の活動報告、役員の対外活動の記事等を掲載した。

メールマガジンは、ホームページ掲載記事を主な内容として毎月初旬に配信した。送付先拡大のため、美術館催事に合わせて周知を図り、配信先を追加した。

また、対外的に当会館組織及び事業を周知するための会館パンフレットは、在庫数の減少にともなうリニューアルを行い、2025年5月発行を目指して作業を進めた。

例年通り活動の総括として、「日中友好会館年報」を7月に発行し、関係先に配布した。

4. 中国日本友好協会との間の相互訪問

中国日本友好協会との定期相互訪問の覚書に基づき、以下の相互交流を実施した。これらの機会を通じ、日中友好会館と中国日本友好協会は、共に国民交流の拡大に向け協力していくことを確認した。

日程	代表団（構成）	訪問地／面会者
9月9日～12日	日中友好会館代表団 （宮本雄二会長、黄星原中国代表理事、海老原常務理事他 計5名）	北京／ 楊万明・中国人民对外友好協会会長、劉建超・中国共産党中央対外連絡部長 他
11月6日～10日	中日友好協会代表団 （程永華・中国日本友好協会常務副会長他 計4名）	東京・大阪／ 宮本雄二会長 岩屋毅・外務大臣、日中友好団体 他

5. 人事制度の改善に向けた検討

2024年4月より、既存の能力評価を行動評価へと改定し、通年で発揮した行動で評価する新人事評価制度をスタートさせた。年度中は2カ月ごとに職員と評価者で1on1面談を実施することで、部下との相互コミュニケーションの活発化を図った。また、2025年4月からの新役職・等級制度の導入に向けて、2023年度に引き続き外部人事専門家（（一社）100年ライフデザイン・ラボ）を交えた検討会を定期的の実施し、人事関連規程類の改定を行い、新制度を構築した。

6. 在籍者（2025年3月31日現在）

	役員		職員				嘱託		臨時職員		派遣職員		計	
			管理職		非管理職									
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
役員・事務局長・ 事務局次長	3						2						5	
	3						1	1					4	1
総合交流部			2		10		1				1		14	
			1	1		10	1					1	2	12
留学生事業部					3		2				1		6	
					1	2	2					1	3	3
日中学院	1				4				3				8	
	1				2	2				3			3	5
文化事業部			1		3		1						5	
			1		2	1	1						4	1
資産管理部					1		2						3	
					1		1	1					2	1
総務・財務部			2		6						2		10	
			1	1		6						2	1	9
その他													0	
													0	0
計	4		5		27		8		3		4		51	
	4	0	3	2	6	21	6	2	0	3	0	4	19	32

※嘱託 管理職 7名

※除く日中学院専任教員（3名）及び非常勤講師（42名）